

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	政策	01 地球環境と地域の環境を保全する
施策	01 環境保全を実践する		

基本方針	環境保全対策を計画的に進めるとともに、市民一人一人の環境に対する意識の向上と自発的な活動を促進し、身近な生活環境の保全と低炭素社会の実現をめざします。
-------------	---

環境部

【施策評価】	進捗状況 ： 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育出前講座については、ダンボールコンポストの作り方など、ごみ減量施策とリンクして開催した。 ・公害防止協定・法規制対象の工場や事業場に対し立ち入り調査を行い、留意すべき点等について必要な指導を行った。 ・大気汚染物質、自動車騒音、公共水域、振動・騒音等について常時監視・調査を実施した。 ・H26.6月に法改正のあった建築物の解体等工事を実施する際の石綿飛散防止対策の履行状況の確認のため、解体パトロールを実施した。 ・環境マネジメントシステムや率先実行計画については、事業等の見直しにより、温室効果ガスの削減に努めた。また、家庭用太陽光発電の設置について、125件の設置補助を実施した。 	

建設部

【施策評価】	進捗状況 ： 「B 概ね期待どおり」
<p>平成26年度にリース方式により、道路照明灯のLED化を行った。 また、老朽化した照明柱については建替えを実施している。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
温室効果ガス排出量の削減率(1990年比)	%	+24.0 (平成17年度)	+30.0 (平成23年度)	-9
環境教育出前講座の参加者数	人	848(平成17～ 21年度の平均)	1,382(平成23～26 年度の平均)	1,000(平成23 ～27年度の平均)
大気や水質・騒音等の環境対策に関して満足している市民の割合	%	29.8 (平成20年度)	37.1 (平成26年度)	37

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	政策	01 地球環境と地域の環境を保全する
施策	02 地域の自然環境を守る		

基本方針	豊かな自然環境を保全し、多様な生命をはぐむ環境づくりに取り組むなど、人と自然とが共生する社会の実現をめざします。
-------------	--

地域振興部

【施策評価】	進捗状況： 「B 概ね期待どおり」
<p>各地域における里山や農地の保全を図るとともに動植物の生息環境への影響を最小限にとどめるため、有害鳥獣捕獲業務を行い、農作物被害の軽減や動植物の生態系の保全を図った。特定外来生物の捕獲頭数は増加傾向にあるので、今後も継続して実施していく必要がある。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
市が主催または共催する自然観察会の参加者数	人	185(平成17～21年度の平均)	106(平成23～26年度の平均)	250(平成23～27年度の平均)
自然環境の保全に関して満足している市民の割合	%	41.9 (平成20年度)	45.9 (平成26年度)	49

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める		

基本方針	ごみの発生抑制、再使用、再資源化、適正処理を積極的に進め、循環型社会の実現をめざします。
-------------	--

環境部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> ・市民向け出前講座、また広報紙やHP、回覧文などの媒体を積極的に活用し、ごみ分別、減量、3R推進の周知を図った。 ・市民センターや公民館に回収ボックスを設置し、小型家電のリサイクル事業を平成27年2月から開始した。 ・新クリーンセンターでの事業系ごみ搬入検査を月1回実施し、燃焼不適物・産廃混入の防止、紙ごみの資源化誘導など適正な分別・ごみ減量化に向けた取り組みを行った。 ・資源化推進のため、地域の資源物集団回収に対し奨励金を支給した。 ・開発行為の協議において、ごみステーションが適正に配置されるよう誘導した。 ・ごみ処理施設の適切な維持管理を行い安全で効率的な運転に努めた。また、次期広域処理施設について、2市2町による協議を各レベルで行い、H34本格稼働に向け準備を進めた。 ・焼却施設においては、計画的な改修工事と運営管理業務のモニタリングにより、適切な維持管理ができた。 ・業務委託により、竜ヶ池最終処分場の浸出水の適正処理と良好な維持管理ができた。 ・破碎施設が老朽化しているため、処理施設の躯体部分を中長期計画で修繕に取り組み、ごみの処理が滞らない様に安定した運転ができた。 ・磐東第2最終処分場の延命化を目標とし、適正な管理ができた。 	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
市民一人あたりのごみ排出量	g/日	940 (平成21年度)	936 (平成26年度)	914
資源化率	%	12.79 (平成21年度)	16.46 (平成26年度)	25
ごみの減量・不用品のリサイクルの推進に関して満足している市民の割合	%	43.7 (平成20年度)	52.9 (平成26年度)	51

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本 目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせる まちをめざして	政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	02 清潔で美しい環境をつくる		

基本 方針	市民の環境美化に対する意識の向上や自主的な活動を促進し、清潔で快適な生活環境の創出をめざします。また、し尿の適正な処理を推進し、環境への負荷軽減を図ります。
------------------	--

環境部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄パトロールを実施し271件の事案について対応した。 ・加古川駅南広場にポイ捨て禁止の路上標識の貼り付け箇所数を追加した。 ・下水道長期整備計画の見直し地域における生活排水処理の方策のアンケート及びパブリックコメントを実施し住民の意見等をまとめ、合併処理浄化槽設置補助拡充(案)を作成し、下水道部と共同し、議会及該当する町内会長へ生活排水処理方策の見直し(案)の説明を行った。 ・し尿収集体制について、し尿登録件数を把握し班体制の見直しを行った。 ・し尿処理施設の設備について、し尿・浄化槽汚泥の投入槽の劣化調査を実施し、修繕等について次年度の予算措置を行った。 ・合併処理浄化槽設置補助の拡充及び維持管理費補助を創設し、平成27年4月1日施行に向け準備を進めた。 	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
アダプトプログラム登録団体数	団体	38 (平成21年度)	38 (平成26年度)	50
生活排水処理率	%	92.0 (平成21年度)	94.2 (平成26年度)	95
ポイ捨てやペットのふん害防止に関して満足している市民の割合	%	12.7 (平成20年度)	22.9 (平成26年度)	20